

2026 年 10 月 30 日

東南アジア最大級の見本市「THAIFEX」における成約状況について ～3年連続の出展を通じて、54件の商談が成立～

(一社)東北経済連合会(会長:樋口康二郎 以下、東経連)は、5 月 26 日(火)～30 日(土)にかけて、東北・新潟 7 県との官民による広域連携のもと、タイの首都・バンコクで開催された東南アジア最大級の国際食品総合見本市「THAIFEX-Anuga Asia 2026(タイフェックス・アヌーガ アジア 2026 以下、THAIFEX2026)」に出展しました。

当見本市への東経連としての出展が最終年度となる 3 年目の今回も、JETRO と連携しながら、東北・新潟地域において強みのあるコメを継続出品することで、“東北・新潟県産米が日本のベストクオリティ”というイメージの訴求・定着を図り、タイをはじめとする東南アジアへの新たな販路確保・拡大を目的に実施しました。(2026 年 6 月 12 日お知らせ済)

THAIFEX2026 の開催期間中、コメに関する商談 132 件のうち、10 月末時点で 21 件の商談が成約に繋がりました。さらに、昨年までの THAIFEX におけるコメの商談についても継続的に交渉を進めた結果、10 月末時点で33件の成約(2025年 11 月 4 日お知らせ時点から、2件増)に繋がりました。この中には県として初めて成約に繋がったものや、商談が現在進行形で続いているものもあります。

これらを合わせると、THAIFEX への 3 年連続の出展を通じて、現在までに合計54件の成約が実現しました。本出展および商談・成約対応については、木徳神糧(株)^{※1}の協力を得て実施しています。

こうした成果について、木徳神糧(株)からは、「3 年連続の出展を通じて累計約 360 件の商談を創出し、約 40 か国・地域の海外バイヤーとのネットワークを新たに構築した。これらの成果は、東北・新潟県産米の認知度向上と販路拡大に寄与するとともに、海外市場の特性理解や販路開拓のノウハウなど、広域連携による輸出基盤を形成することに繋がった。また、今回の取り組みにより、産地である各県との連携を一層強化することができた。今後も継続的な情報交換や交流を重ね、産地との連携を生かした海外販路の拡大や新たな商機の創出に取り組んでいきたい」との評価を得ています。

また、今回の出展を通じて、海外のバイヤーからは、「これまで食べた日本産米の中でも特に食感が良い」などの東北・新潟のコメを高く評価する声が多く聞かれました。加えて、「どこで購入できるのか」、「業務用として取扱可能か」などの購入を前提とした具体的な質問も数多く寄せられ、3 年連続で出展した結果、当初は情報収集を目的としていたバイヤーの関心が、具体的な商談・取引の検討段階へと発展していることを伺うことができました。

こうしたことから、東南アジアをはじめとする多くの国の方々に、東北・新潟県産米の品質の良さ、地域産品の魅力を実感いただき、日本のベストクオリティとしての訴求・定着に繋がったものと考えています。

東経連では、引き続き、東北・新潟の基幹産業である一次産業を持続的で魅力ある産業へと発展させることを目的に、政府の「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」に基づき、当地域の強みであるコメをはじめ地域産品の輸出拡大に取り組んでまいります。

◆成約情報(2026 年 10 月末時点)

(1) THAIFEX2026 の成約 計 21 件

内訳:①タイ国内:18 件

県産名	銘柄	卸先	数量
岩手県	ひとめぼれ	カレー店	80 kg／月
		カレー店	40 kg／月
		ハンバーグ店	6,300 kg／月
		和食店	4,800 kg／月
		焼肉店	400 kg／月
		焼肉店	100 kg／月
		寿司店	60 kg／月
		カフェ	60 kg／月
		うどん店	40 kg／月
新潟県	こしいぶき	和食店	900 kg／月
		和食店	300 kg／月
		焼肉店	300 kg／月
		和食店	140 kg／月
		和食店	280 kg／月
		和食店	40 kg／月
	コシヒカリ	カフェ	300 kg／月
		懐石料理店	60 kg／月
		寿司店	100 kg／月

内訳:②タイ以外:3 件

県産名	銘柄	国名	卸先	数量
岩手県	ひとめぼれ	イスラエル	食品卸	37.8t
秋田県	あきたこまち	イスラエル	食品卸	12.6t
山形県	つや姫	香港	コメ卸	1t

(2) THAIFEX2025 までの成約 計33件(2025年 11 月 4 日お知らせ時点から、2件増)

内訳:①タイ国内:27 件

年度	県産名	銘柄	卸先	数量
2025 (11 件)	新潟県	こしいぶき	居酒屋	300 kg／月
			高級和食店	300 kg／月
			高級和食店	300 kg／月
			高級和食店	300 kg／月
			高級和食店	300 kg／月
			寿司店	300 kg／月
		コシヒカリ	高級和食店	200 kg／月
			寿司店	200 kg／月
			焼肉店	200 kg／月
			高級和食店	200 kg／月
			高級和食店	200 kg／月

年度	県産名	銘柄	卸先	数量
2024 (16 件)	岩手県	ひとめぼれ	寿司店	200 kg／月
			寿司店	200 kg／月
			焼肉店	300 kg／月
			寿司店	200 kg／月
			寿司店	100 kg／月
			高級和食店	100 kg／月
			高級和食店	100 kg／月
	新潟県	銀河のしずく	高級和食店	200 kg／月
		こしいぶき	寿司店	200 kg／月
			焼肉店	200 kg／月
			高級和食店	300 kg／月
			高級和食店	200 kg／月
			高級和食店	200 kg／月
			とんかつ屋	200 kg／月
			寿司店	100 kg／月
			焼肉店	100 kg／月

内訳:②タイ以外:6 件

年度	県産名	銘柄	国名	卸先	数量
2024	新潟県	こしいぶき	アラブ首長国連邦	食品卸	9.6t
	秋田県	あきたこまち	イギリス	食品卸	6.4t
	岩手県	銀河のしずく	フィリピン	小売りチェーン	7t
	宮城県	ひとめぼれ	カナダ	食品卸	840 kg
	山形県	はえぬき	香港	コメ卸	7t
	新潟県	コシヒカリ	シンガポール	飲食チェーン	200 kg



東北・新潟県産米 7 銘柄出展ブース(2026年)



商談中の様子(2026年)

◆ 出品情報

(1) THAIFEX2026 出品

県名	銘柄	県名	銘柄
青 森	まっしぐら	山 形	つや姫
岩 手	ひとめぼれ	福 島	天のつぶ
宮 城	ひとめぼれ	新 潟	こしいぶき
秋 田	あきたこまち		

(2) THAIFEX2025 出品

①コメ銘柄

県名	銘柄
青森	まっしぐら
岩手	銀河のしずく
宮城	ひとめぼれ
秋田	あきたこまち
山形	つや姫
福島	天のつぶ
新潟	こしいぶき

②ご飯に合う地域産品

県名	品目	事業者
青森	ホタテ入りねぶた漬け	ヤマモト食品(株)
岩手	岩手県産牛	(株)ネクサス
宮城	いか明太子ぶっかけ	(株)八葉水産
秋田	秋田牛	(株)ネクサス
山形	山形県産牛	(株)ネクサス
福島	松川浦かけるあおさ	(株)マルリフーズ
新潟	数の子わさび	マルタスギヨ(株)

(3) THAIFEX2024 出品

県名	銘柄	県名	銘柄
青森	まっしぐら	山形	つや姫
岩手	銀河のしずく	福島	天のつぶ
宮城	だて正夢	新潟	こしいぶき
秋田	サキホコレ		

本出展は、2023 年 11 月の第 12 回「わきたつ東北戦略会議」※2 において、今後 2～3 年にわたり、新たな販路としてタイ・シンガポール等で輸出拡大に取り組むことを確認し、実施したものです。

参考

※1 木徳神糧(株)の概要

- (1) 会社名: 木徳神糧株式会社
- (2) 代表者: 代表取締役社長 鎌田 慶彦
- (3) 所在地: 東京都千代田区神田小川町 2-8 木徳神糧小川町ビル
- (4) 資本金: 5 億 2,950 万円
- (5) 業務内容: 米穀、飼料、鶏卵、その他食品等の仕入、加工、販売並びに輸出入

※2 東北・新潟の各県知事や各県大学学長などの産学官金トップで構成する会議体。
事務局は東経連(別添)

以 上

【本件に関するお問い合わせ】

(一社) 東北経済連合会 食・観光グループ 横山・五十嵐 TEL:022-397-6415(横山)

東経連のこれまでの地域産品の輸出拡大、促進の取組み等は、以下 URL をご覧ください。

<https://www.tokeiren.or.jp/press-release> (東経連ホームページ)

わきたつ東北戦略会議について

1. 開催趣旨

東北・新潟が直面する共通課題に対し、産学官金トップが認識を共有し、具体的な施策を通して地域が一体となって自立的に課題解決に取り組むことを目指して、東経連が 2018 年に立ち上げた。

2. メンバー

(官) 青森県知事、岩手県知事、宮城県知事、秋田県知事、山形県知事、福島県知事、新潟県知事

(学) 弘前大学学長、岩手大学学長、東北大学総長、秋田大学学長、山形大学学長、

福島大学学長、新潟大学学長

(金) 株式会社日本政策投資銀行 代表取締役社長

(産) 一般社団法人東北経済連合会会長、副会長

3. 過去開催実績

開催年	開催月日	会議回数	議論テーマ
2018 年	5 月 8 日	第 1 回	東北ハウス、若者の還流・定着、地域産品輸出
	11 月 1 日	第 2 回	東北ハウス、若者の還流・定着、地域産品輸出
2019 年	5 月 14 日	第 3 回	東北ハウス、若者の還流・定着、地域産品輸出、 広域交通ネットワークストック効果、 地域企業への AI・IoT 導入
	10 月 30 日	第 4 回	東北ハウス、地域企業への AI・IoT 導入促進
2020 年	中止	第 5 回	(新型コロナウイルス感染拡大により中止)
	10 月 29 日	第 6 回	ポストコロナ・5 つの提言
2021 年	4 月 21 日	第 7 回	兼業・副業人材活用の重要性
	11 月 16 日	第 8 回	「デュアルライフ東北」の実現に向けた取組
2022 年	5 月 19 日	第 9 回	「デュアルライフ東北」の実現に向けた取組
	11 月 8 日	第 10 回	農産逸品輸出拡大への取組
2023 年	4 月 24 日	第 11 回	ベンチャー／スタートアップとの連携促進
	11 月 14 日	第 12 回	農産逸品の輸出拡大への取り組み
2024 年	4 月 16 日	第 13 回	人口減少問題
	11 月 6 日	第 14 回	THAIFEX への出展報告、人口減少問題
2025 年	5 月 15 日	第 15 回	人口減少問題
	11 月 6 日	第 16 回	広域リージョン連携
2026 年	4 月 22 日	第 17 回	広域リージョン連携



第 17 回「わきたつ東北戦略会議」